

先端データ解析論 レポート第2回

48196635 桑原亮介

宿題 1

目的：ガウスクERNELモデルに対する l_2 -正則化を用いた最小二乗回帰の交差確認を実装し、正則化パラメタとガウス幅を決定する。

方法：ガウス幅/正則化パラメタをそれぞれ $\{0.1, 1.0, 100.0\}$ に設定した際の計 9 パターンで予測式を立て、正解データとの最小二乗誤差のもっとも低い組み合わせを決定する。

結果：ガウス幅 1.0、正則パラメタ 0.1 の際に誤差が最小となった。

宿題 2